

チーム えがお



《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』
 ☆「かしこく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子

発行者：校長 岡田 達也

～ えがお かがやき かんばる 学校 おうえんだん 「チーム北川」～



『地域の力』を学校教育へ！

本校の教育活動重点項目の一つが「地域とともにある学校」づくりです。北川地区に住む人々、北川地区の史跡や自然など、地域の力を学校教育に取り入れて教育活動を一層充実させることで、学校だけでなくそれに関わるすべてのみなさんにとって意味のあるものにするをねらっています。その取組を推進するために、本年度から岡山県、笠岡市より学校支援地域本部事業の指定を受けました。この事業は、地域のボランティアが学校を支援する、これまでの取組を更に発展させて組織的なものとし、学校の求めと地域の力をマッチングして、より効果的な学校支援を行おうとするものです。

【「読み聞かせ」ボランティアさん 来校！】



そこで、今月から新たに隔週水曜日の朝読書の時間に、「読み聞かせ」ボランティアの方にお世話になることにしました。記念すべき先日2日（水）の第1回目は、1年生と3年生に読み聞かせをしていただきました。「読み聞かせ」とは、絵本や童話などを選んで、子どもたちに読んで聞かせるものです。子どもたちは熱心に耳を傾け、絵本に集中していました。



「読み聞かせ」には、大人が声を出して読むことで、子どもの心を落ち着かせたり、同じ喜びや感動を友達と分かち合ったりする効果があります。また、大人が自分（自分たち）のために読んでくれているという喜びや安心感を感じることが出来ます。そのため、自分から本を読むことがあまり好きでない子でも、自然に読書の世界に入っていきことができるのです。「落ち着いて学習し、自分の考えを確かなものにする」子どもたちを育てるためにも大切な時間だと言えます。

【「サツマイモづくり」でお世話になったみなさんに感謝の気持ちを込めて！】

2年生の子どもたちは、サツマイモづくりでお世話になった公民館や老人クラブなど、地域のみなさんをお招きして「イモフェスティバル」を行いました。10月末に収穫したサツマイモを使ってみなさんと一緒にサツマイモ料理を作ったり、空き缶釣りや紙飛行機の的当てなどのゲームをして楽しんだり、みなさんの肩をたたいたりして、心からの「おもてなし」をしました。最後には、松ぼっくりやドングリで作ったトトロやその仲間たちがいるクリスマスツリーの置物をプレゼントしました。



参加して下さった地域のみなさんは、子どもたちの心からの「おもてなし」にとっても喜んでくださいました。それを見ている子どもたちもとても嬉しそうでした。こうした地域のみなさんとの触れ合いの中で「ふるさと愛」は育っていきます。

「地域の力」を学校教育に取り入れることの大切さやすばらしさを強く感じるよい機会となりました。これからも、こうした取り組みを進めていきたいと考えています。



～ まだ間に合いますよ！ 「緊急配信メール」の登録！ ～